

若手任期付き研究員の雇用実態調査の報告 2

Actual condition survey of temporal positions for youth scientists 2

江尻 省[1]; 吉村 玲子[2]; 尾花 由紀[3]

Mitsumu Ejiri[1]; Reiko Yoshimura[2]; Yuki Obana[3]

[1] 国環研; [2] NICT; [3] 九大宙空環境研究センター

[1] NIES; [2] NICT; [3] SERC, Kyushu Univ.

近年、若手研究者の雇用形態として、ポスドクに代表されるような任期付き研究職が急激に増えている。これに伴い、任期付き研究員の人数が増大の一途を辿るばかりでなく、任期付き職に従事する研究者の年齢層も幅広くなっている。しかしながら、任期付き研究職の雇用条件や勤務形態の実態は、個々人が自分の立場について知っている程度で、十分に公開・把握されているとは言えない。そこで我々は、任期付き研究職の実態を把握するべく、色々な研究機関に所属する任期付き研究員に協力してもらい、雇用条件や勤務形態についての調査を行った。調査項目としては、採用時に公募を出すかどうかということから、任期、給与、各種手当、勤務時間、各種休暇とそれを取った際の給与の有無、受けられる保障、旧姓の使用制限など、実際勤務する中で問題になり易いものから始めた。本公演では、これらの項目についての調査結果を詳細に報告する。